

南、^{ぬあむす}すべてを網羅し給ふ究竟神よ、龍の肯んじを爲す。いは、光燦々たる啊素羅神 **असुर**
無際限なる美よ、魂を恍惚させ給ひ、消し去らせ給ふ。途方もなく際もなき自由よ自在よ、
不可捉とふ考概すらも神を捉へじとせば、むなしくもをかし、いみじくものあはれ。

龍峯寺りゅうほうの僧りゅうほう龍鳳りゅうほうが著した公案録「叙無記」じよむき肇輯ちやうしゅう第十七段に有名な真巖しんがんと龍鳳の対話が

ある。

是文究竟而卷子皆同故唯文究竟

真曰、このふみのこころ しんいやく いづくにしあるとも くきやう(究竟)なり

龍曰、かんす(卷子) りゅう みなおなじうくきやうならずや

真曰、このふみくきやうのゆゑん

「この文の意がどのような内容であろうとも、この文は究竟である」
「ならば、すべての文は究竟ということになってしまふではないか」
「それこそがこの文のみが究竟である理由である」



究竟真実義はすべてを網羅し、遺漏がない。それゆえに、すべてを網羅しないことを網羅する。また、同じ理由で、一部分しか網羅しないことを網羅する。数式で表現すれば、左のとおり。

究竟真実義を Ω と措定し、

$$\{\Omega \mid \Omega = A \cup ((A \setminus A) = \bar{A})\}, \quad A = U \quad ※ U \text{ は全体集合}$$

$$\Omega = y \notin (A \cup (A \setminus A)), \quad \Omega = x \in (B = \{x\} \subseteq A)$$

集合Aは遺漏なく一切を含む集合。 Ω は、A及びAからAを排斥した集合A(事実上、空集合 $\emptyset$)との和集合と丈等しい。その和集合に属さないyと丈同じ。Aの真部分集合であるBに属するxと丈同じである。

すなわち、

<http://syiveeyh.g2.xrea.com/Rhuez.mp3>



こがら
小雀の声。

沈として影も動かぬ茶室の畳の上に置かれた茶碗。茶筌とともに、碗の口縁に架けられた茶杓。

それは白竹しらたけの一本樋いっぽんひで、茶入れから抹茶をすくう爲の細い竹篋たけべらのだが、中ほどに竹の節がくるように詔ありてしわれ、そこが少し持ち上がった、蟻腰ありてしと云う見掛で、丁寧うるじやまに漆拭がされている。



※補遺註釈.. 右は眞神文字『ゐい（龍肯）』。